

大会名 Competition	第22回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
No. M-103	Year Month Day Time 2009 年 5 月 3 日 12 : 10
場所 Place	能代市総合体育館



NOSHIRO
CUP '09

チームA		チームB	
桜	宮	明	成
	63 ●	96 ○	
		14 1st 36	
		15 2nd 20	
		19 3rd 23	
		15 4th 17	
		OT	

主審:Referee
緒方 崇 0
副審:Umpire
小川 裕之 0

テーブル・オフィシャル:Table officials
能代高校

No.	pi-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	pi-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	木下 貴裕	CAP	7	1	2	0	1	4	×	村田 翔	CAP	19	5	2	0	2
5	×	田中 一行		4	0	2	0	0	5	/	玉田 駿		3	1	0	0	2
6		横田 一城		-	-	-	-	0	6	/	畠山 俊樹		4	0	2	0	3
7	×	阪口 拓郎		9	0	4	1	1	7	/	圓山 慧		1	0	0	1	0
8	/	福田 隆司		4	0	2	0	0	8	/	須川 陽介		0	0	0	0	0
9	×	谷口 淳		21	0	7	7	3	9	/	木村 聡		0	0	0	0	4
10		岡田 修		-	-	-	-	0	10	×	高田 歳也		38	4	11	4	1
11	/	石塚 裕也		9	0	3	3	5	11	/	門田 瑠唯		2	0	1	0	1
12		柳内 龍馬		-	-	-	-	0	12	/	松澤 大晃		0	0	0	0	0
13		山本 和輝		-	-	-	-	0	13	×	杉本 健将		9	1	3	0	0
14	×	保井 佑介		7	1	0	4	1	14	×	菊地 大		10	0	5	0	3
15	/	古倉 勇人		2	0	1	0	0	15	×	宮澤 耀佑		8	0	4	0	3
16		濱本 将太		-	-	-	-	0	16	/	藤井 祐希		0	0	0	0	1
17		吉川 凌司		-	-	-	-	0	17	/	蔦木 大智		0	0	0	0	2
18	/	河隅 航		0	0	0	0	0	18	/	安藤 誓哉		2	0	1	0	1
コーチ		小村 基							コーチ		佐藤 久夫						
Aコーチ		藪中 俊彦							Aコーチ		細野 真						
合計				63	2	21	15	11	合計				96	11	29	5	23

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

試合開始時のディフェンスは両チームともマンツーマン。明成は#10高田、#13杉本らのスピード豊かなガード陣が桜宮のディフェンスを切り裂き、いとも簡単に得点を重ねていく。桜宮は序盤粘り強くシュートを決めるものの、明成の激しいディフェンスの前にパスが回らず、単発なオフェンスが続く。攻め手を欠き始めた桜宮を尻目に明成は内外角からバランスよく加点し、残り4分11-19と明成が先行する。桜宮はタイムアウトを請求しディフェンスを3-2ゾーンに変えるが、明成は落ち着いて対応、#15宮澤が連続してインサイドで得点し、ディフェンスが収縮したと見るや#4村田が立て続けに3Pを沈める。高確率でシュートを決めた明成が14-36と大量リードを奪って第1Qを終了。

第2Q、流れを変えたい桜宮は2-2-1のフルコートプレスを仕掛ける。両チームともシュートが決まらず重苦しい展開となるが、4分を経過したところで明成がタイムアウト。これが功を奏し、明成は#13杉本、#4村田が連続して3Pを決め、#14菊地もハイポストからのジャンプショットで連続得点、試合は再び明成ペースとなる。桜宮は途中出場の#11石塚がリバウンドで奮闘、#9谷口がインサイドで得点するなど粘りを見せるが、追い上げるには至らず桜宮29-56と明成が更にリードを広げて前半終了。

第3Qも開始早々から明成が桜宮を攻守に圧倒する。今日2試合目で疲れの見える桜宮に対し、素早いトランジションから次々と速攻で加点、守っては桜宮の攻撃を完璧に封じ、中盤でリードを40点に広げる。しかし徐々に明成のシュートが落ち始めると桜宮も粘りを見せ、#4木下の3Pやジャンプショット、#7阪口のドライブ等で反撃、桜宮48-79明成で第3Qを終える。

第4Q、明成はパスミスや簡単なシュートを外す場面が多く見られ始め、思うように得点が伸びない。一方の桜宮も前線から激しくプレッシャーをかけて速い展開に持ち込むが、明成の粘り強いディフェンスに対しシュートが決まらず、なかなか点差を縮めることができない。結局試合の流れは変わらず、明成がリードを守って試合終了。鍛え上げられたディフェンスで終始桜宮の攻撃を封じ込めた明成が、危なげない試合運びで完勝した。